

今日のゴール

★ 難しいけど絶対試験に出る経過勘定の意味を理解する

② 貯蔵品の一連の流れを理解する

この授業で主に登場する勘定科目

貯蔵品 資産 借方(左)

未払費用 負債 貸方(右)

未収収益 資産 借方(左)

前払費用 資産 借方(左)

前受収益 負債 貸方(右)

通信費 費用 借方(左)

租税公課 費用 借方(左)

SECTION 01

売上以外の収益

商品販売以外にも、会社はさまざまな収益を得ることがある。問題文をよく読んで、どの収益勘定を使うかを判断しよう。

よく出る売上以外の収益

頻出の収益勘定

受取手数料…〇〇手数料を受け取ったとき

受取家賃…所有している部屋・建物を貸して家賃を受け取ったとき

以前に学習した収益勘定（復習）

受取利息 / 雑益 / 固定資産売却益 / 償却債権取立益

どれも問題文を読めば判別は難しい。「～を受け取った」という文言に注目しよう。

例題 | 受取家賃の仕訳

問題

所有するマンションの1室を貸し出しており、当月分の家賃 50,000円を現金で受け取った。

借方(左)

現金	50,000	貸方(右)	受取家賃	50,000
----	--------	-------	------	--------

解説

現金という資産が増え、受取家賃という収益が発生する。貸している物件の家賃収入は「受取家賃」。

SECTION 02

経費

経費とは、会社が事業を行う上で発生するさまざまな費用の総称である。試験で「経費」という言葉そのものを問われることはないが、問題文を読んで適切な勘定科目を選ぶ力が必要となる。

ほとんどは問題文を読めば判断できる。

勘定科目	どういう時に使うか
通信費	切手・はがき・電話代・インターネット料金など
租税公課	収入印紙・固定資産税など。 ※ 法人税などは「法人税等」を使う（別勘定）
旅費交通費	電車・バス・タクシー・出張費など交通手段全般
広告宣伝費	会社や商品の宣伝・広告にかかる費用
水道光熱費	水道・電気・ガスなどのライフライン費用
支払手数料	〇〇手数料を支払ったとき（振込手数料など）
支払家賃	オフィス・倉庫などの家賃を支払ったとき
保険料	火災保険・自動車保険など各種保険の支払い
消耗品費	コピー用紙・文房具・インクなど消耗品全般
諸会費	業界団体・商工会などの会費を支払ったとき
その他	問題文の内容から判断しよう

例題 | 通信費の仕訳

問題

得意先への書類郵送のため、はがき 60枚（1枚 50円）を現金で購入した。

通信費 = 50 × 60 = 3,000円

借方(左)

通信費	3,000	貸方(右)	現金	3,000
-----	-------	-------	----	-------

解説

はがきは通信手段なので「通信費」。切手・電話代なども同様に通信費で処理する。

SECTION 03

貯蔵品

決算時点で、切手・収入印紙などが未使用のまま残っていた場合、残っている金額を費用から貯蔵品という資産勘定に振り替える。

なぜ振り替えるのか

切手・収入印紙は換金性が高いため、使っていない分はまだ「価値のある資産」として残っている。購入時に費用計上しているが、決算で正しい財務状態を示すために資産へ戻す。

例題 | 貯蔵品の一連の仕訳

問題

- ① 期中に切手 100枚（1枚 10円）を現金で購入した。
- ② 決算日（3月31日）に未使用の切手が 20枚残っていた。
- ③ 翌期首（4月1日）に再振替を行った。

① 購入時 — 全額を費用に計上

通信費 = 10 × 100 = 1,000円

借方(左)

通信費	1,000	貸方(右)	現金	1,000
-----	-------	-------	----	-------

② 決算時 — 未使用分を資産へ振替

貯蔵品 = 10 × 20枚 = 200円

借方(左)

貯蔵品	200	貸方(右)	通信費	200
-----	-----	-------	-----	-----

③ 期首（4月1日） — 再振替で費用へ戻す

借方(左)

通信費	200	貸方(右)	貯蔵品	200
-----	-----	-------	-----	-----

解説

決算での振替はあくまで一時的な処理。翌期首には逆仕訳（再振替）で元の状態に戻す。貯蔵品→費用へ。

証ひょうからの仕訳

証ひょうとは、取引の証拠となる書類のことである。請求書・納品書・振込依頼書・税金の納付書などがこれにあたる。

試験では証ひょうを読み取って仕訳を解く問題が出題される。書類に記載された金額・取引内容・支払方法を正確に読み取ることが大切だ。

例題① | 請求書からの仕訳 (備品購入)

問題

次の請求書を受け取り、合計額を普通預金から支払った。なお、当社では単価 100,000円以上のものを備品として処理している。

請求書

あなたの会社 御中

X1年 8月 10日
山田商事株式会社

ご請求金額 ￥213,000

品名	数量	単価	金額
複合機	1	200,000	¥200,000
設置作業費			¥8,000
配送料			¥5,000
合計			¥213,000

複合機 (200,000円 ≥ 100,000円) → 備品として処理。設置費・配送料も取得原価に含める。

借方 (左)

備品	213,000	貸方 (右)	普通預金	213,000
----	---------	--------	------	---------

解説

複合機本体が 200,000円 (100,000円以上) なので備品。設置費・配送料は備品を使うようにするための付随費用のため、備品の取得原価に含める。合計 213,000円を備品として計上。

例題② | 納品書兼請求書からの仕訳 (売上・消費税)

問題

次の納品書兼請求書を取引先へ発送し、代金は掛けとした。消費税は税抜方式で処理する。

納品書兼請求書

東西株式会社 御中

X1年 9月 20日
あなたの会社

ご請求金額 ￥44,000

品名	数量	単価	金額
A商品	100個	200	¥20,000
B商品	50個	400	¥20,000
		消費税 (10%)	¥4,000
合計			¥44,000

借方 (左)

売掛金	44,000	貸方 (右)	売上	40,000
			仮受消費税	4,000

解説

税抜方式では消費税を「仮受消費税」として分けて計上する。売掛金は合計額 (44,000円)、売上は税抜額 (40,000円)、差額が仮受消費税 (4,000円)。代金は掛けなので借方は売掛金。

今日のまとめ

★ 難しいけど絶対試験に出る経過勘定の意味を理解する

経過勘定 = お金の動きと費用・収益の計上タイミングのズレを修正する勘定

前払費用・前受収益・未払費用・未収収益 の4つを使い分ける

決算で振り替え → 期首に再振替 (一時的な処理)

タイムラインで当期分・次期分を切り分けてイメージすること

② 貯蔵品の一連の流れを理解する

購入時 → 全額を費用 (通信費・租税公課など) に計上

決算時 → 未使用分を費用から貯蔵品 (資産) へ振り替え

期首 → 再振替で費用へ戻す